

8
月
号

ふじの

REPORT

奈良県議会議員 ふじの 良次

県政
レポート

Vol.

170

2026年
170号

改革の必要性和効果を求める!!

“高校教育改革”に向け!!

報告! 「6月定例県議会」

6月18日に開会の「定例県議会」は、前号で報告しました69億232万2千円の補正予算案や県中央卸売市場事業費特別会計補正予算案、条例改正案、副知事及び監査委員の選任案、その他報告案件など、計35議案と意見書2件を可決承認し、7月2日に閉会いたしました。

閉会日には、議長を始めとする役員改選が行われました。

昨年7月より、副議長として、議会改革などスムーズな議会運営に取り組んでまいりましたが、1年間の任務を終え、辞表の提出とともに本会議で理事者や議員に対するお礼挨拶をさせていただきました。また、記者会見においては「副議長として、県政の発展、県民の幸せのために何をすべきかを考えながら責任を持って取り組んでまいりました。これらのことを今後の私の議員活動に活かしていきたいと

思います。」と述べました。

改めて、今までの経験を活かしながら“暮らしの向上”に向け全力で取り組んでまいりたいと決意も新たにしているところです。

今年度、所属する委員会は、「総務警察委員会」となりました。財政などの総務全般や政策推進などの知事公室全般、並びに防災統括や県警察などが所管となりますので、委員会においては効率的かつ効果的な行政運営を求めるとともに、安全で安心して暮らせる奈良県の実現に向けてより積極的な議論を行いたいと思っています。さて、6月30日、文部科学省は、「令和7年度・産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」の採択結果について、公表いたしました。

今回は、38都道府県の高등학교75校が採択されたことですが、残念ながら奈

良県は採択には至りませんでした。同事業は、2040年の産業構造変化を見据え、産業界と教育機関が連携して高度人材を育成するため、高校教育を改革するパイロット校を都道府県に創設する「N-E. X. T. ハイスクール構想」の実現を目指しています。

奈良県は、6月議会の補正予算において、教育改革に向けての基金積み立てや、県内の3校を“改革先導校”として施設整備等の予算も計上するなど事業計画を進めてまいりました。

今回の結果を受け、県教育委員会では、改めて採択に向け取り組むということですが、改革の必要性や効果など、より議論を深めながら計画の見直しを図って欲しいと願うところであり、国の動きも注視しながら、今後の取り組みを見守ってまいりたいと思っています。



ふじの 良次ホームページ

<https://www.y-fujino.jp/>

【代表・一般質問】や【委員会質問】などの議会報告や活動報告を定期的に更新しています。また、ご意見をメールにて受付いたしております。





令和8年6月経済労働委員会質問概要



中央卸売市場再整備促進事業について

【質問】市場は、開かれた市場としてどのような努力を日頃されておられるのかお聞きしたい。

【答】場内事業者等と連携しながら、市場の役割や魅力を広く発信するよう努めている。具体的には、主に小中学生の社会見学として市場見学の受け入れ。令和7年度は11団体290名が来場、卸売市場を学ぶ貴重な機会となっている。小学生向けの「夏休みチビッツ市場探検」を毎年夏休みに開催、80名の参加枠を大きく上回る応募があり、非常に高い人気を集めている。また、「ならいちばのキッチン親子料理教室」では、畿央大学と連携し、年3回開催。親子での食育の場として好評を得ている。県民を対象として、「冬の市場まつり」「食祭市」などのイベントを開催。特に「冬の市場まつり」は例年1万人を超える来場者があり、地域のにぎわい創出に寄与しているものと考えている。さらに市場の紹介動画を、奈良県公式You Tubeにおいて公開し、幅広い層への情報発信にも取り組んでいる。

【質問】再整備される市場エリアについても、学べる市場、より開かれた市場として取り組むべきと思うが、考えをお聞きしたい。

【答】見学者コーナーを充実させ、見学者の動線を確認、安全性に十分配慮し、見学者と場内車両の動線が交差しないように工夫する。これにより子供や学生、一般消費者が安心して市場を見学、体験できる環境を整え、県民にとって一層身近で親しみやすい市場としていく。



【質問】店舗の移設費や使用料などについて、県の考え方、具体的な取り組みについてお聞きしたい。

【答】令和6年度8月の事業費水準、市場事業者と合意した前回入札時の使用料の水準を維持する。具体的な支援は次の6点を考えている。1. 施設使用料を現行単価から新単価まで10年かけて段階的に引き上げる、激変緩和措置。2. 新店舗の引っ越し、新しい店舗での備品の購入、機器等の設置などに要する経費等を支援する。



3. エンジン式フォークリフト等の車両を、すべて電動式に切り替える経費を支援。4. 新市場の移転に伴い、市場事業者が受ける融資について、金融機関に支払う利子や保証機関に支払う保証料を支援。5. 雇用に要する経費を支援。6. 再整備を契機に市場事業者が統合再編などを行う場合、その経費を支援。制度設計については、市場事業者の方にも支援策の詳細を、丁寧に説明を行い、新市場の経営が円滑に移行できるようにやっていきたい。



奈良県ビジターズビューローについて

【質問】ビジターズビューローと県の観光局は、どのような連携をしながら、インバウンドに向けての取り組みを進められておられるのかお聞きしたい。

【答】主な取り組みとしては3つ。1. 地域ならではの観光資源を活用した商品造成とその販売。2. 高付加価値旅行市場における、奈良の認知向上と販路構築を目的とした国際商談会への出席。



3. 特に欧米豪市場向けの広域観光プロモーション。これまでの実績として、欧米豪市場の旅行会社から、20本以上のツアー商品の造成が実現、海外有力メディアにおいては、400件以上の記事露出がなされるといった実績も上がっている。

【質問】現在注目をあびている大河ドラマ「豊臣兄弟」や世界遺産登録を目指す「飛鳥・藤原の宮都」。こういった中で中南和の観光について観光局とどのようにタイアップしながら進めていくのか、お聞きをしたい。

【答】方向性としては大きく2つあり、1つは、地域と連携した観光地域づくりの取り組み。例えば、今年度は明日香村において高付加価値ツアーにも対応できるようなガイドの育成事業を実施予定。2つ目は、地域コンテンツの観光商品化と、それを広域周遊として促す取り組み。県ビジターズビューローには、観光コンテンツの商品化や販路構築、地域の意欲ある事業者と連携した観光地域づくりの取り組みなど、観光局、行政では担いきれない役割を果たしていただいており、これらの取り組みをビューローが着実に進めていただけることを期待し、県もしっかりと連携して参りたい。